



西本さん 横田さん

ミハラシニア編集室ママライター(三原歴8年と17年)が行く

未来へつなぐ大切な絆

きずな

コロナ禍で祭りやイベントのあり方は大きく変化しましたが、開催する人の思いや地域の絆はずっと大切にしていきたい。市民ママライターがそんな思いや絆を独自取材します。

第8回

本郷町南方小舟木地区の鯉のぼり

みなみかたこぶなき

こい

開催時期.. 4月10日から5月5日を過ぎた日曜日頃まで

特徴.. 畑で優雅に泳ぐ鯉のぼり

澄み渡る空を泳ぐ鯉のぼり

意外と大変? 鯉のぼりの設置



鯉のぼりのある風景を大事に伝えたいです。
左から 池田さん、森川さん、坂田さん

本郷西小学校の南側に位置する小舟木地区では、毎年4~5月に色鮮やかな鯉のぼりが田園風景を彩ります。自分の子が成長し、家で鯉のぼりを揚げなくなった地元の人たちが集まり、平成28年から開始。最初は十数匹だけでしたが、次第に地元の人たちから譲り受けるなどして、今では30匹以上となり、市外からも写真を撮りに来る人がいるほどの人気スポットになりました。

鯉のぼりは、長さ11メートルの竹竿を8メートル間隔に10本並べ、畑に埋めた鉄パイプに固定します。期間中に雨風で傷んでしまうので数が足りなくなり、地元の小学生と協力し、手作りしたことも。毎回11メートルもある竹を切り出すのは一苦労ですが、登下校の小学生が鯉のぼりを見て喜ぶ顔を見るとやって良かったと思うそうです。



「三原市公式note」で記事掲載中!



第8回

市長

健康づくり



健康診査を受けましょう!

健康維持の秘訣は人それぞれだと思いますが、私は日課としてジョギングを続けています。適度に運動をすることで、心身ともに健やかに過ごすことができている。また、今年度も健康診査を受ける予定にしています。

私が初めて、健康のありがたさを痛感したのは、20代前半の頃でした。パワーのみなぎっていた若い頃に、体調を崩したことのショックが大きく、「健康は努力して維持していくもの」と感じたのをよく覚えています。

医学の進歩によって、多くの病気が「治る」ようになりました。体調の異変を早期発見するために、健康診査を受けましょう(5~9ページ参照)。市民の皆さんが健康に暮らせることを願い、今年度もしっかりと市政に取り組んでまいります。



Hella! MIHARA

三原市初!ハワイ出身の国際交流員コラム

Vol.8

国際交流員 横川あいさん

ALTやCIR向け冊子に三原の写真が掲載。

海外から派遣されて日本に来るALT(外国語指導助手)やCIR(国際交流員)などに向けて作られているハンドブックの表紙と裏表紙に、私が送った三原の写真が採用されました。この冊子は、世界各国から日本に派遣予定のALTやCIRに手渡されているもので、約2,000人に配られています。今回は瀬戸内海の写真が選ばれ、三原のきれいな海をアピールできてうれしく思います。三原には他にもたくさん素敵な場所があるので、これからも海外の人たちに三原の魅力を発信していきたいです。

※ハンドブックはJETプログラムHPから見るができます。

JETプログラムHP

●外国人相談窓口(市役所本庁4階) 問経営企画課(TEL)0848-67-6270 (FAX)0848-64-7101)